

日 程

1 集 合 整 列 ~ 8 : 2 5

2 開 会 式 8 : 3 0 ~ 8 : 4 5

《 式 次 第 》

(1) 開 式 の 言 葉

(2) あ い さ つ

群馬陸上競技協会

(3) 競 技 上 の 注 意

群馬陸上競技協会 競技審判長

(4) 選 手 宣 誓

前橋市陸上競技協会 菊池 悠仁くん
(前年度優勝チーム)

(5) 閉 式 の 言 葉

3 競 技 9 : 1 5 ~ 1 4 : 1 5

(1) 選抜対抗駅伝競走 〈6区間=各区間1.5km〉 9 : 1 5 ~

(2) 小学4年生男子マラソンレース 〈1.0km〉 9 : 5 5 ~

(3) 小学4年生女子マラソンレース 〈1.0km〉 1 0 : 0 5 ~

(4) 小学3年生男子マラソンレース 〈1.0km〉 1 0 : 1 5 ~

(5) 小学3年生女子マラソンレース 〈1.0km〉 1 0 : 2 5 ~

(6) 小学2年生男子マラソンレース 〈1.0km〉 1 0 : 3 5 ~

(7) 小学2年生女子マラソンレース 〈1.0km〉 1 0 : 4 5 ~

(8) 小学1年生男子マラソンレース 〈1.0km〉 1 0 : 5 5 ~

(9) 小学1年生女子マラソンレース 〈1.0km〉 1 1 : 0 5 ~

(10) 男子クラブ対抗駅伝競走 〈6区間=各区間1.5km〉 1 1 : 1 5 ~

(11) 女子クラブ対抗駅伝競走 〈6区間=各区間1.5km〉 1 1 : 5 5 ~

(12) 男子学校対抗駅伝競走 〈6区間=各区間1.5km〉 1 2 : 3 5 ~

(13) 女子学校対抗駅伝競走 〈6区間=各区間1.5km〉 1 3 : 2 0 ~

(14) タイムトライアルレース 〈1.5km〉 1 4 : 0 5 ~

4 表 彰

5 閉 会 1 4 : 3 0

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本記録会は、2012年（財）日本陸上競技連盟競技規則・駅伝競走基準ならびに、本大会開催要項及び申合せ事項よって行うが、教育的な配慮をすることとする。

2 競技場使用について

- (1) ウォーミングアップは本競技場並びに周辺コースを使用する。
- (2) 競技において、スパイクシューズ、裸足は一切禁止する。（ピンレススパイクも不可）

3 競技者の招集について

- (1) 招集場所は1区とマラソン、トライアルレースに出場する選手は、各スタート付近、それ以外の選手はゴール付近とする。
- (2) 招集時刻は、各競技開始時刻の15分前とする。
- (3) 競技者は招集時刻までに必ず招集場所に集合し、点呼を受ける。その際、係員にナンバーカードの確認を受けたのち、係員の誘導に従って入場する。なお、マラソン出場者は、点呼後ナンバーカードを受け取る。
- (4) 競技への出場をやむを得ず棄権する時、受付にて申し出る。また、急遽棄権する場合は、競技者の所属するチームの監督が、その旨を競技・招集にて連絡する。

4 競技運営について

- (1) オーダーの変更は、選抜レースを除いて、特に申し出なくもよいが、競技者の所属するチームの監督が、責任をもって対応すること。選抜レースは、受付に報告すること。
- (2) 1区の競技者のスタートについては、ナンバーカード順とし、一列目が1～13、二列目が14～28、……とし、棄権があった場合はつめる。
- (3) 時計は手動計時（1秒単位）とする。ただし、ゴールの決勝審判は、写真判定機を使用する。
- (4) フライング（不正出発）は3回で失格とする。
- (5) 対面走行となる区間では、道路の中心線より右側を走ることとする。また、原則として、アスファルト舗装をされた道路を走ることとする。
- (6) 自転車や人による伴走は禁止とする。
- (7) 1区間の途中で走者を交代させることはできない。
- (8) 「たすき」は、必ず肩から脇腹方向へ斜めに掛けて走ること。
- (9) 「たすき」は、手渡しとしなければならない。
- (10) 次の区間の走者は、中継線より進行方向に位置しなければならない。
- (11) 「たすき」の受け渡し区間は、中継線の前方20mまでとする。
- (12) 同一競技者が2区間以上走ってはならない。
- (13) 駅伝競走においては、そのチームが同一のユニフォーム（体育着）を着用すること。
- (14) 競技者はその競技をする以外は、トラックおよびフィールドに立ち入ることができない。
- (15) 抗議は競技規則第147条に従って、各チームの監督を通じて行う。

5 ナンバーカードについて

- (1) 駅伝選手のナンバーカードはA5サイズとし、配布されたものを胸部に確実に貼り付けること。また、6区（アンカー）の競技者はアンダーラインの入っているものを貼り付けること。
- (2) マラソン、タイムトライアルレース選手のナンバーカードはラベルシールとし、招集時に左胸に補助員が貼る。

6 用器具について

「たすき」は出場チームで用意したものを使用する。

7 表彰について

- (1) 各駅伝競走の第10位までに賞状を授与する。ただし、選抜駅伝については、出場全チームに賞状を授与する。
- (2) 各駅伝種目区間3位まで、各タイムトライアルレース3位までの個人に、賞状を授与する。
- (3) 1～4年マラソン競走第10位までの選手に、賞状を授与する。
- (4) 表彰は、各競技終了後の予定なので、入賞チームは本部席に来ること。

9 その他

- (1) 速報記録を各所属陸協・クラブ・学校毎に1部配布する。監督は本部席にて受け取ること。
- (2) タイムトライアル出場者は受付時に申し出ること。
- (3) 記録証は、受付にまとめて置いてあるため、競技後各自で持って行き、速報記録をもとに各自で記入すること。ただし、選抜チームの選手は症状が配布されるため持って行かないこと。
- (4) メガフォンを叩いての応援は、アナウンスの妨害になるので禁止する。
- (5) ウォーミングアップ・競技中共にフィールド内への立ち入りを禁止する。